

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	東京聖栄大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トウキョウセイエイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	健康栄養学部
	担当教職員名・役職	担当教員 塩谷 敏明 役職 教授
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	52
	受入企業等数	24
	受入企業等名	https://www.tsc-05.ac.jp/food/internship/
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	新商品販売にあたって企画・立案を行い、社員の前でプレゼンテーションを行なう。製造ラインに入り、商品製造の業務を行う。衛生指導業務の同行を行う。実際に店舗に立ち、社員と一緒に販売を行う、等をインターンシップ研修期間中に行っている。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		3年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		3学年を対象に、夏季休業期間中、あるいは後期授業期間中に原則連続して5日以上インターンシップを組み込んだ選択科目「インターンシップ」として実施している。本科目では、学生の主体性に基づくより高い就業意識と職業観の育成や専門分野への理解を促すことを目的としている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	インターンシップ授業内で、外部講師によるマナー講習の実施、5Sや危険予知の訓練などの教育を行なっている。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している

	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全9回の事前学習の中で、インターンシップの目的の理解、研修前の社会人基礎力自己分析(第1回)、企業研究(第2回)、マナー講習(第3回)、インターンシップにおける危険予知訓練、事例研究(第4回)、目標設定・履歴書作成準備(第5回)、履歴書作成(第6回)、履歴書作成、報告書・日誌作成準備(第7回)、受け入れ先との面談準備(第8回)およびインターンシップ研修直前総まとめ(第9回)等を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験と、学生自身の学びがどのようにつながったのかを振り返る目的で、インターンシップ後にインターンシップ手帳の提出、研修後の社会人基礎力自己分析、および成果報告会を開催している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	教員がインターンシップ期間中に受入企業に赴き、企業担当者と面談、ならびに学生とも面談を行い、研修前に掲げた目的を遂行できているか確認しながら指導を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ研修前後での変容を客観的に把握するために、インターンシップ手帳、研修前後での社会人基礎力自己分析での得点の変化等を用いて、学生の自己理解を促している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間連続5日間(最低日数)
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間15日間(うちインターンシップ実施期間1社目5日、2社目10日)
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	アサマ化成株式会社において、10日間のインターンシップを行っている。株式会社ビーアンドエスコポレーションおよび山崎製パン株式会社において、5日間、10日間、計15日間のインターンシップを行なっている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業にご理解いただいた上で、そのニーズにも応えられるようにするため、書面のやりとりを通して相互理解を図っている。また、インターンシップ期間中にも受入企業担当者とインターンシップ担当教員が連携を図り、スムーズにインターンシップが実施できるように努め、終了後には受入企業から学生の評価表を提出していただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.tsc-05.ac.jp/food/internship/
問い合わせ先	大学等名	東京聖栄大学
	担当部署名	トウキョウセイエイダイガク
	担当者役職名	教授
	担当者氏名	塩谷 敏明
	電話番号	03-3692-0211
	メールアドレス	shioya-t@tsc-05.ac.jp